

理念

地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。



市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室
〒526-8580 長浜市大戎亥町 313 番地
TEL：0749-65-2720
FAX：0749-65-2730
<http://www.nagahama-hp.jp>

救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院
地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。4月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

令和5年度のはじめにあたり

院長 高折 恭一



湖北地域医療・介護機関の皆さまには、日頃から市立長浜病院の運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝しております。当院は地域医療支援病院に指定されており、地域の皆さまとの連携をしっかりと行い、その役割を果たして行きたいと存じますので、引き続きご支援をいただければ幸いです。

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、日々進化するがん治療に対応し、地域完結型の高度医療を提供する使命があります。令和4年度には、関係者の努力により、市立長浜病院中央検査室・病理診断科においてISO15189の認定を得ることができました。国際規格であるISO15189は、高品質の臨床検査を行う能力を有することを示すもので、がんゲノム医療には必須とされています。がんゲノム医療は、がん組織や血液中の多数の遺伝子を調べ、一人一人の体質や病状に合わせてがん治療を行うもので、これまでは大学病院など限られた施設で行われてきました。私自身も前職の京大病院においてはエキスパートパネルに参加し、がんゲノム医療によって、多くの難治がんの患者さんが救われるのを目の当たりにしてきました。湖北地域においても、本格的ながんゲノム医療を実現するべく、職員が一丸となって取り組んでいるところです。既に、院内で呼吸器内科、呼吸器外科、脳神経外科、外科、消化器内科、耳鼻咽喉科、泌尿器科などにおいて、遺伝子パネル検査や分子標的療法などを実施していますが、さらに充実したがんゲノム医療の体制を整えて行きたいと存じます。

また、心疾患・脳疾患にも注力しており、循環器内科は県内で最多の虚血性心疾患・末梢動脈疾患・不整脈に対するカテーテル治療（年間約900例）を実施しています。県内で初めて設置いたしましたSCU（脳卒中集中治療室）においては、24時間体制で専門医による集中治療を実施しています。

当院のリウマチセンターは、滋賀県北部をはじめ周辺地域からも高度で専門的な治療を要する患者さんを受け入れており、今年度からリウマチ・膠原病内科の常勤医を追加採用し、より一層充実した体制を整えています。

これからも、市立長浜病院の特徴を活かして、地域の皆様との連携を一層推進し、地域の皆様のお役に立てるように尽力していく所存です。今後とも、ご支援ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

基本方針

1. 患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
2. 地域の医療関係者との連携を深め、地域医療の発展につくします。
3. 高度で良質な医療水準を確保し、安全で信頼される医療を進めます。
4. 快適な療養環境の整備と、質の高いケアに務めます。
5. 医学研究活動を推進し、優れた医療人を育成します。
6. 職員が互いに尊重、協力してチーム医療を実現します。
7. 職員が元気で働きがいのある職場づくりに務めます。

医師の異動（4月）

■着任（令和5年4月1日付）

リウマチ・膠原病内科責任部長	新川 雄高
心臓血管外科部長	許 徹一
整形外科医長	河本 聡
泌尿器科副医長	山内 直也
腎臓代謝内科	岡島 良奈
麻酔科	小石 悠介
循環器内科	神山 創路
整形外科	村上 光正

リウマチ・膠原病内科	マクラケン佳世
臨床研修医	大西 航平
臨床研修医	小笠原 究
臨床研修医	金井 克行
臨床研修医	廣田 涼也
臨床研修医	福森 強介
臨床研修医	篠原 三奈

■退職（令和5年3月31日付）

感染制御部責任部長	大野 暢宏	整形外科	滝口 陽介
脳神経外科部長	佐藤 岳史	麻酔科	森山 凌
心臓血管外科部長	吉良 浩勝	臨床研修医	伊原 俊之
消化器内科副医長	大脇 悠司	臨床研修医	桂 東吾
整形外科副医長	米田 義崇	臨床研修医	桂 遙香
腎臓代謝内科	杉本 陽	臨床研修医	佐々木 暁香

医療従事者研修会を開催しました

◆第327回開放型病床生涯教育研修会 兼 第2回臨床研修医による症例報告会

令和5年3月2日に標記研修会を開催しました。

今回は当院臨床研修医（1年目）の3人の先生を講師にこの1年で経験された症例について発表されました。

- ① 脳梗塞を既往に持つ座位保持困難を訴える救急搬送患者の症例 市原 豪 臨床研修医
- ② 続発性気胸に対しドレーンを留置したものの自己抜去した1例 渡邊 重之 臨床研修医
- ③ 顕微鏡的多発血管炎加療中の偶発的低カリウム血症からTdPに至った一例 深野 毅雄 臨床研修医

◆第328回開放型病床生涯教育研修会 兼 第3回臨床研修医による症例報告会

令和5年3月8日に標記研修会を開催しました。

今回は当院臨床研修医（1年目）の4人の先生を講師にこの1年で経験された症例について発表されました。

- ① 慢性硬膜下血腫術後、再手術に至った一例 山崎 一輝 臨床研修医
- ② めまいを主訴に救急搬送された一例 初村 拓毅 臨床研修医
- ③ 高次脳機能障害で発症した多発脳出血の一例 佐々木 暁香 臨床研修医

書面報告 胆石胆嚢炎を疑い行ったCT撮影でPTPシート誤飲が判明した一例 中田 啓哉 臨床研修医

お知らせ

■ 地域連携予約受付業務について

令和5年4月より毎週木曜日は17時に地域連携予約受付業務を終了させていただきます。FAXは稼働いたしておりますが、お返事は翌日にさせていただきます。緊急時は当院救急へご連絡ください。

また、時間外の受付については、職員一人での対応とさせていただきますので大変ご迷惑、ご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力方よろしくお願い申し上げます。